

2. 評価結果（詳細）

主任調査員 石松成子 / 同行調査員 浜田千里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念とともに、グループホームの理念も掲げ、毎年ユニットごとに年間理念を決めている。地域密着型サービスとしての役割を目指した内容の理念になっていない。	○	地域密着型サービスの意義や役割を理念に盛りこむことが求められる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念を基に、各ユニットごとに年間理念を決め、目標を持って毎日のケアに取り組んでいる。ホーム内の見やすい所に掲示し、ケース会議時に理念に沿ったケアが出来ているか話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会や花見、運動会等への参加、文化祭への作品展示など積極的に地域との交流を図っている。法人主催の夏祭りには地域の人にも参加を呼びかけ、中学生や高校生のボランティアの受け入れなど行なっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価の意義を全職員に伝え、各ユニットごとに自己評価に取り組み、改善点を話し合い、サービスの質の確保に活かしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者・家族・地域住民代表・行政担当者など、幅広い立場の人に参加を呼びかけ、定期的開催している。事業所の状況や取り組みを報告して、多くの意見を引き出し、サービス改善に向けて取り組んでいる。		

グループホーム鈴蘭

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市からの依頼で、介護相談員の研修受け入れや、市職員との勉強会など開催し関係作りを積極的に行い、ともにサービス向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便りを毎月ユニットごとに発行し、入居者の日頃の暮らしぶりや様子をわかりやすく伝えている。面会時には近況を話し、ケース記録や出納帳を確認してもらっている。心身の変化があった場合は随時報告し、話し合っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に相談苦情窓口を明記し、入居時に説明を行っている。運営推進会議に家族代表にも参加を呼びかけ意見を求め、運営に反映させるよう取り組んでいる。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新しい職員が入った場合は、認知症やグループホームについて研修を実施し、理解を深め、ベテラン職員と勤務するなど工夫している。又、職員の写真をホーム内に掲示したり、ホーム便り等で家族にも紹介している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修計画を作成し、経験や段階に応じて研修の機会を確保している。法人や事業所の内部研修も実施し、職員の質の向上に取り組んでいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者とのネットワーク作りの中心的立場にあり、情報の共有化や勉強会の機会を積極的に設け、交流を通してサービスの質向上に取り組んでいる。		

グループホーム鈴蘭

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望があれば、主治医や担当ケアマネジャーと連絡を取り、自宅訪問や病院訪問を行い、本人や家族との面談や見学をしてもらっている。入居後も自宅訪問をしたり、安心感を持って生活できるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	米作り・野菜作り、毎日の調理や味噌づくり・餅つき・灰汁巻きづくりなどの行事をとおして、お互いが協働し支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントに本人や家族の希望や趣味・特技など情報収集し、又、ケース記録に気づいた事や言葉など記録し、本人の思いや意向把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の訪問時に意見を聞き、担当者会議に職員も参加し、主治医の意見や職員の気づきや意見を反映した介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケース会議で3ヶ月ごとにモニタリングを実施し、計画について話し合い、必要時には計画の変更を行っている。状態変化や本人家族の要望があれば随時見直しを行っている。		

グループホーム鈴蘭


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族と話し合い、定期受診の通院介助やなじみの美容室や理容室への送迎・自宅訪問・墓参りなどの支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診は本人・家族の希望するかかりつけ医による診察を支援し、緊急時には本人・家族と話し合い、協力医療機関の受診を支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の対応については、対応できる最大のケアについて本人・家族に話している。主治医や職員と話し合い、本人・家族の気持ちを尊重した支援を行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ケース会議や内部研修で一人ひとりの誇りを尊重することや、プライバシーの確保の重要性について話しており、さりげない声掛けや対応ができています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れは一応決めているが、起床や食事・入浴時間など一人ひとりのペースを大切にケアしている。家族と話し合い、飲酒や喫煙の楽しみも希望にそって支援している。		

グループホーム鈴蘭

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	決まった献立はあるが、入居者の希望を聞いてメニューを変更することもある。自分達で作った米や野菜を利用して、準備や片づけを手伝い、職員と一緒に楽しく食事をしている。入居者の要望があれば出前や外食をすることもある。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	隣接する温泉センターから温泉を引いておりいつでも入浴できる。希望の時間に介助者も配慮し、入浴を支援している。季節に合わせ柚湯等を楽しんでもらうこともある。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴など把握し、米作りや野菜作り・お茶摘み・味噌作りなど役割をもってもらい、張り合いや楽しみのある生活を支援している。一人ひとりの誕生日のお祝いや季節の花見・行事など計画し気晴らしの機会を設けている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い涼しい時間に散歩をしたり、買い物や外食など希望に合わせて支援している。自宅訪問や墓参りなど家族と相談しながら支援し、積極的に外出の機会を設けている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者や職員は鍵をかけない暮らしの大切さを認識し、入居者を尊重し自由な暮らしを支援している。居室もはきだし窓で解放的である。隣接する施設との協力関係もできており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回総合防災訓練や地域の消防団との合同訓練に併設施設のスタッフの協力を受け実施している。他のホームの水害での教訓を活かし、災害に備えた備品や食料品も備えている。		

グループホーム鈴蘭

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の好みや希望を取り入れ、法人内の栄養士のアドバイスをもらいながら、バランスのとれた献立を決めている。又、入居者の状態にあわせ、刻み食など配慮し、食事量や水分量のチェックを行い記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳コーナーや静養室があり、不安感のある入居者など臨機応変に対応できるよう工夫している。玄関やリビングに入居者の作品や季節の花をさりげなく飾り、居心地の良い空間を整えている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた寝具や家具・テレビ・電気製品など持ち込み、又、仏壇や家族の写真・手作りの作品など飾り安心して過ごせるよう工夫している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNET に公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。